QFN 通信

Qshu Forest Network News

NPO 法人　九州森林ネットワーク

第 35 号 since2005.6.1

発行日　2026.04.10

〈発　行〉
NPO 九州森林ネットワーク
本部：宮崎県諸塚村
〈編集責任〉
大分県・上津江オフィス

巻 頭 文　　理事長 佐藤 宣子（福岡県 福岡市）

2 月末の中東地域での国際法を無視した戦闘によって、国際情勢が大きく変動しています。1973 年のオイルショック時よりも深刻だという意見もあり、エネルギーの中東依存の脆さを痛感します。日本社会全体にも個々人の生活にも深刻な影響がもたらされることが予想されます。この春は、こうした状況から私たちは何を学び、何ができるかを考えさせられる季節になっています。

私たちが関わっている森林や林業は太陽エネルギーと悠久の時間の中で育ってきた樹木を基礎としています。時流に一喜一憂せずに、近くにある資源を大切に、適切に使うことを基本に、エネルギー源の分散化を徐々に進める必要があると考えます。

本通信では、昨年 12 月に開催したオンライン勉強会の報告と 5 月に開催するプレミアム研修の案内を掲載しています。初めて開催したオンライン勉強会では統計書からみる九州の森林と林業の 2000 年代の変化についてお話しをしました。素材生産量の増加の中で、製材工場が九州全体で 4 割減少し、大規模化が進んでいること、バイオマス材や輸出が急増していることが見えてきました。

また、5 月に開催する会員向けのプレミアム研修は、今年は長崎県の島原半島を巡ります。保残木施業という非皆伐の森づくりと地域産材をふんだんに使った図書館を見学します。島原観光と合わせ、是非、ご参加下さい。

また、30 回目の記念フォーラムを 2026 年 11 月 27-28 日に熊本で開催します。詳細は後日お知らせいたしますが、これまでのフォーラムを俯瞰しつつ、林業と建築における中小経営を守る意義と方法について議論を深めたいと準備中です。

皆様の地域での活動や取り組みに参考になる活動を続けていきたいと思います。引き続き、会員としても継続をよろしくお願い申し上げます。



【目次】

オンライン勉強会レポート P.2～P.5
第 14 回 プレミアム研修会 告知 P.6～P8

NPO 法人九州森林ネットワーク オンライン勉強会 レポート

令和 7 年 12 月 19 日(金)に、九州森林ネットワーク第 1 回オンライン勉強会を開催いたしました。
今回の QFN 通信では、その時の模様を簡潔にレポート致します。

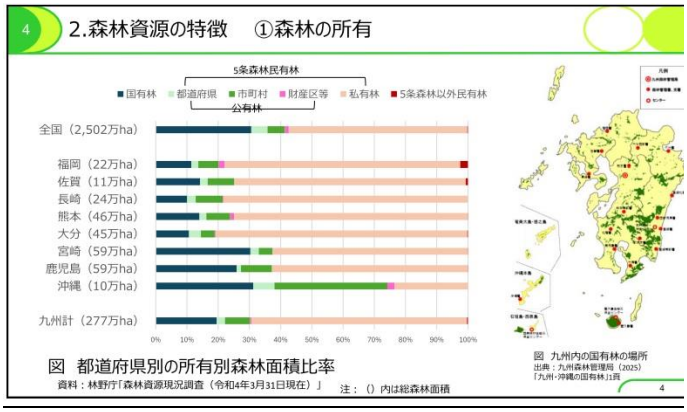
テーマ:九州の森林・林業と木材利用のこれからを語ろう ～統計から見えること～

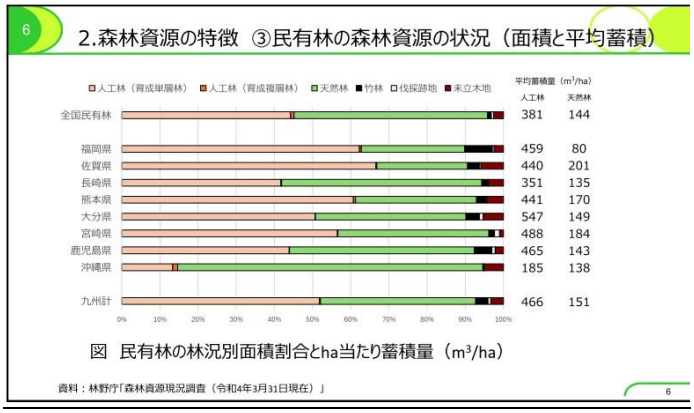
講師:佐藤 宣子 氏 (NPO 法人 九州森林ネットワーク理事長、九州大学大学院農学研究院教授)

趣意書:
九州は戦後、民有地での人工林造林が活発に実施され、温暖なため成長が旺盛であり、全国に先駆けて戦後造林木の主伐(多くが皆伐)が進んでいます。しかし、人口減少が本格化する中で、建築用木材の需要が減退し、バイオマス発電所や輸出向けの木材利用割合が増えていると言われています。
　また、農山村での過疎・高齢化の加速度的な進行や温暖化の影響による自然災害リスクの増大なども懸念されます。そうした中で、九州の森林・林業の現状を把握し、未来に向けて語り合う、九州森林ネットワークならではのオンライン勉強会を企画しました。

オンライン勉強会では、以下の件に関して話題提供が行われました
① 森林資源の特徴　森林資源と森林所有
② 林業(木材生産)の変化　素材生産
③ 木材利用と加工産業の変化　建築用、紙パルプ用、燃料用(発電用、薪)、輸出用
④ 近年の山地災害の特徴

【 ① 森林資源の特徴　森林資源と森林所有 】では、以下のような話題提供がありました。
・九州の森林は民有林の割合が高い
・国有林も一定規模存在し、地域ごとの森林構成に影響している
・人工林は戦後の拡大造林によって形成されたものが多い
・現在は人工林の高齢化が進み、利用期(伐採適齢期)に到達している
・齢級構成に偏りがあり、同じ年代の森林が多い
・民有林では小規模な林家が多く、所有が分散している
　⇒ そのため効率的な森林経営が難しい構造となっている
・森林の中には保安林が多く指定されている
・九州は地域ごとに森林資源の構成や条件に差がある
・森林資源は量的には充実しているが、管理や活用に課題がある

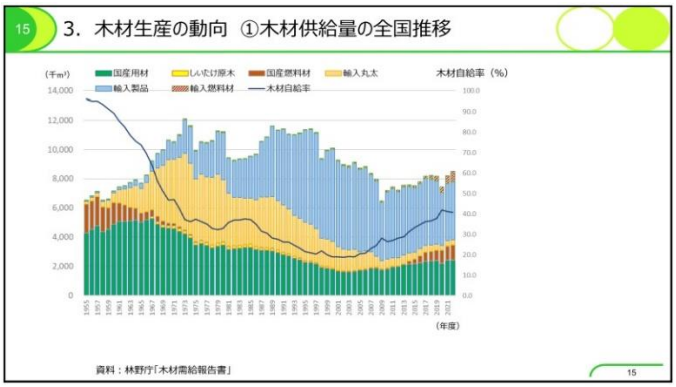


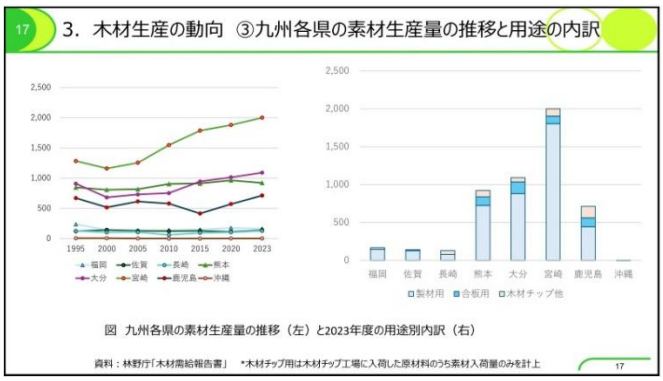


上図　森林資源の特徴　森林資源と森林所有　のプレゼン資料(一部)

【　②　林業(木材生産)の変化　素材生産　】では、以下のような話題提供がありました。

・木材生産量は長期的低迷から回復傾向にある
・九州は全国の中でも木材生産が活発な地域となっている
・宮崎県・大分県などが主要な生産地域として成長している



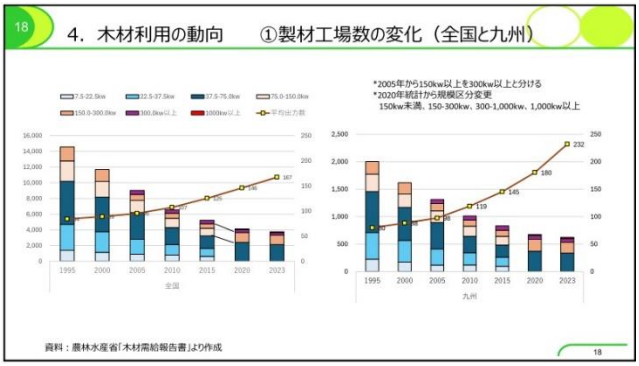


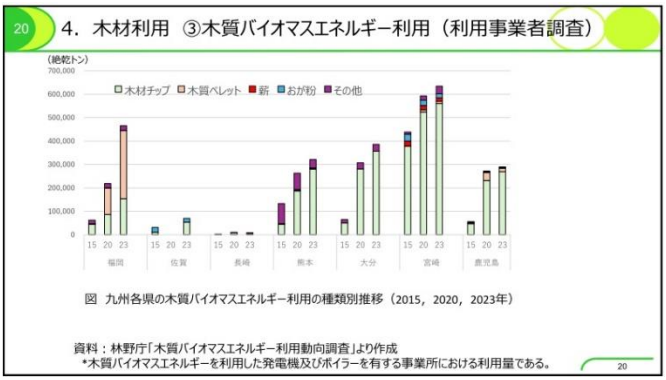
上図　森林資源の特徴　林業(木材生産)の変化　素材生産　のプレゼン資料(一部)

【　③　木材利用と加工産業の変化　建築用、紙パルプ用、燃料用(発電用、薪)、輸出用　】では、以下のような話題提供がありました。

・製材工場数は全国・九州ともに大幅に減少している
・小規模な製材工場の淘汰が進行している
・一方で、大規模・高出力の製材工場が増加している
・木材加工産業は集約化・効率化の方向に変化している
・地域構造として、北部九州のシェアが低下している
・宮崎・大分・熊本・鹿児島など南九州のシェアが増加している
・木材利用は建築用以外にも多様化している
・木質バイオマスエネルギー利用が拡大している
・間伐材・林地残材由来の木材チップが増加している
・九州からの丸太輸出が大幅に増加している
・特に志布志港など特定港からの輸出が拡大している

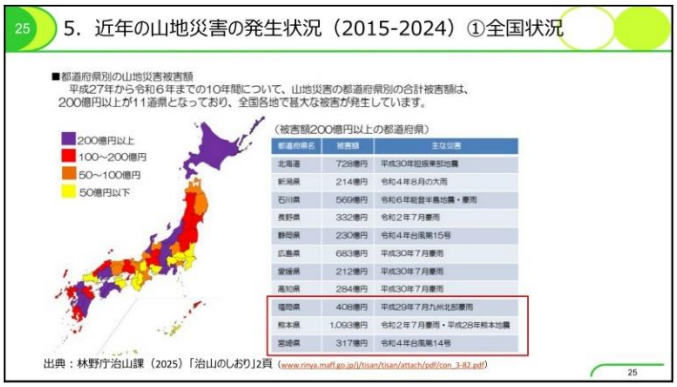
・木材製品の輸出も一定の伸びを示している
・一方で、木材輸入は減少傾向にある
・全体として、国内資源活用と海外市場への展開が進行している

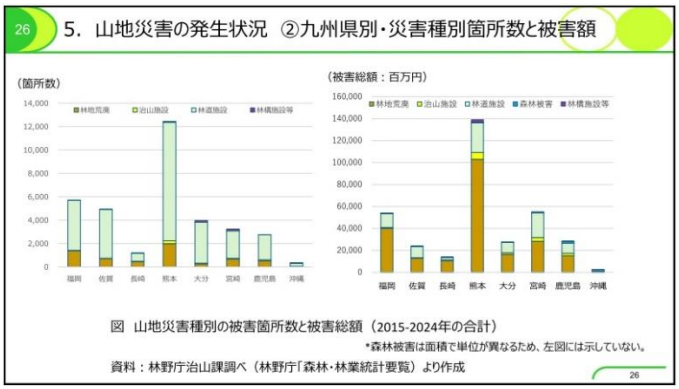




上図　木材利用と加工産業の変化　建築用、紙パルプ用、燃料用(発電用、薪)、輸出用　のプレゼン資料(一部)

【　④　近年の山地災害の特徴　】では、以下のような話題提供がありました。
・九州でも多くの災害が発生している
・主な災害は林地荒廃（崩壊・土砂流出である
・林道施設や治山施設の被害も多く発生している
・災害の主因は豪雨による土砂災害が中心である
・近年は気候変動の影響で災害の頻度・規模が拡大している可能性がある
・九州の県ごとに被害箇所数や被害額に差がある





上図　近年の山地災害の特徴　のプレゼン資料（一部）

感想(編集者の私見)

本資料から、九州における森林・林業の現状は「資源の充実」と「構造変化」が同時に進んでいることが理解できた。特に人工林の成熟により資源量は豊富であり、木材生産や輸出の拡大といった経済的な活用が進んでいる点は重要である。一方で、製材工場の減少や大型化など、産業構造上の課題も浮き彫りになっている。また、統計データでは把握しきれない現場の実態が存在することも印象的であり、データの限界を意識する必要性を感じた。

さらに、山地災害の増加は森林管理の重要性を再認識させるものであり、単なる資源利用だけでなく、防災や環境保全の視点を含めた総合的な森林政策が求められていると感じた。今後は持続可能な林業の実現に向けて、地域特性に応じた取り組みが不可欠である。

アンケート結果

【フォーラムの感想】

・とてもわかりやすく非常に勉強になりました。現場の方達のお話も大変勉強になりました。（一般　60 歳以上）

・丸太の輸出が増えてきていましたが、何故でしょうか？また、どのような用途になっているのでしょうか？（森林関係　50 歳代）

・データから、九州や都道府県別の森林・林業の特徴をみて、基礎的な認識ができました。森林経営計画や伐採面積（主伐や再造林に関して）データが公開されていないことなど、課題なども知ることができました。現場にあう施業方法や、伐採の在り方、それを支えるフォレスター制度など、さまざまな意見・アイデアを学んでいきたいと思いました。ありがとうございました。（一般　30 歳代）

・中大規模木造の取組みとして、豊築森林組合に協力していただきヒノキ異等級集成材（E120-F140）を使い8階建てのハイブリッド木造ビルの計画を進めています。（博多コネクティッドエリア内）これをきっかけに構造材へのヒノキ利用が進めば。と思います。（一般）

・九州内でも南北で違いがあり、各地の状況を知ることができ勉強になった。皆伐面積の集計データがないことに驚いた(40 歳代)

・久々に林業関係の情報発信の機会になった。P11 の天然林は誤解を招く。雑木林、薪炭林ではないか。輸出の丸太が多いのはBC材の行く先、中国宛てが主力なので製品は単価が合わないので伸びないらしい。丸太が売れないのと建築材製品の市況との原因は違う（一般　60 歳以上）

【今後取り上げて欲しいテーマなどがございましたらご記入ください】

・森林に関する国家の諸制度に対する現場の反応を多くお聞きしたいです。

・スマート林業やこれからの最新の森林施業に関心があります。

・山元から製品市況までつながっているのだが、幅が広すぎて個々の課題、問題点につき、議論が深まらなかったのが残念。個別に議論すべき課題としてフェーズを分けするなどテーマを明確にした議論の方が良いと感じました。今後、オンライン勉強会もするなら、リアルとの連携手法、構成を整理してはどうでしょうか

第 14 回九州森林ネットワーク会員向け　プレミアム研修　in　長崎県島原/県央のご案内

NPO では 5 月に会員限定で九州の林業地に出かけてフィールドで学ぶ、研修を実施しています。
第 14 回目となる 2026 年は 5 月 22 日(金)と 23 日(土)に長崎県島原地域と県央で研修を行います。
島原地域では、鍋島林業株式会社の神代(こうじろ)事業所を視察します。鍋島林業さんは長崎県雲仙市国見町に位置し、地域の森林資源を活用した持続可能な林業経営と歴史的背景が大きな特徴です。
県央では、ミライ on 図書館(長崎県立・大村市立一体型図書館)を視察します。県立と市立が一体化した図書館は、全国でも二例目(一例目は高知県立・高知市立一体型図書館)となっています。
近年、公共図書館は、社会的な要求や変化により大きく役割が変化しています。長崎県においては、資料の収集や保存などを役割とした県立図書館と、地域のニーズをサービスに反映する大村市立図書館を”一体化”することで、変わりつつある利用者のニーズに、柔軟に対応する図書館のあり方を目指し建設されています。 ミライ on 図書館は、大村の地勢に呼応した緩やかな「湾型ライブラリー」です。多良岳を背景に、大村湾を望む扇状地にある敷地に対し、豊かな自然と市街地とを繋ぎ、街の流れを引き込む”湾”のような存在を形にした「湾型のひとつ屋根」がおおらかに包み込み、本と過ごす豊かな場がうまれる「緑の広場」と一体となりながら街へと回遊する図書館となっています。
是非ご参加をお願いします。

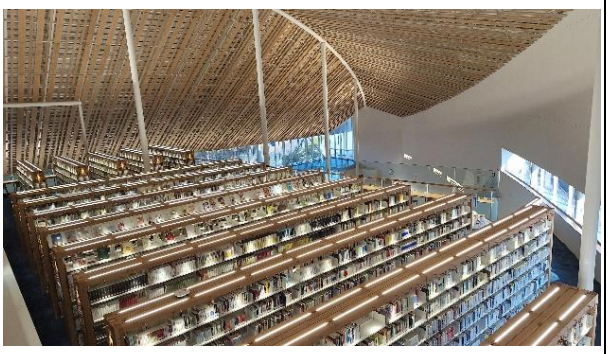
◆開 催 日　　令和8年 5 月 22 日(金)～23 日(土)　1 泊 2 日

◆集合場所　鍋島林業株式会社神代事業所駐車場
(集合:午後 2 時 00 分)
〒859-1303　長崎県雲仙市国見町神代103
※お近くの会員様は乗り合わせてご参加ください。
交通アクセス【https://maps.app.goo.gl/8jw2QCpUFyo6S9vR7】

〒859-1303 長崎県雲仙市国見町神代103

◆主な日程(予定:見学時間、当日の交通状況により予定時刻が変更になる場合があります。)

5 月 22 日 (金曜日)　14:00	(各自移動) 【集合・見学①】鍋島林業株式会社神代事業所(こうじろ じぎようしよ) 〒859-1303　長崎県雲仙市国見町神代丙 103 交通アクセス【https://maps.app.goo.gl/8jw2QCpUFyo6S9vR7】 平成21年度「間伐・間伐材利用コンクール」「林業事業体による森づくり」部門　全国森林組合連合会会長賞　受賞団体 林野庁 HP　受賞者の概要 【https://www.rinya.maff.go.jp/j/kanbatu/kanbatu/pdf/11nabeshima.pdf】  	〒859-1303 長崎県雲仙市国見町神代103 平成21年度「間伐・間伐材利用コンクール」受賞者の概要

17:00	【ホテル】 島原ステーションホテル花みずき 【夕食・懇親会　会場】 予定：居酒屋・割烹　雲仙（うんぜん） 〒855-0801 長崎県島原市高島 1-424 電話：0957-64-2708 食べログ 【https://tabelog.com/nagasaki/A4203/A420302/42001289/】 交通アクセス【https://maps.app.goo.gl/M6JmgM4TKSbrDUHf7】 ジャンル：居酒屋、日本料理、馬肉料理 島原駅からほど近く、地元でも長く親しまれている居酒屋・割烹。	島原ステーションホテル花みずき　公式HP 雲仙　食べログ紹介　居酒屋・割烹
5 月 23 日　8:30 （土曜日）	フロント集合 ・チェックアウト終了後、各自で移動	
10:00	【見学②】 ミライ on 図書館（長崎県立・大村市立一体型図書館） 〒 856-0831 長崎県大村市東本町 481 TEL 0957-48-7700 FAX 0957-48-7703 公式 HP【https://miraionlibrary.jp/】 交通アクセス【https://maps.app.goo.gl/Dy8Myo2NehqVqXAq7】 県立と市立が一体となった図書館。館内を一望できる魅力と、視点の変化を体験する「段状ライブラリー」です。アプローチを湾状平面の両エッジにとり、広場に対し、各層にレイアウトした活動の様子がにじみでるように配置した「ブックカダン（花壇）」と名付けた 4 層雛段状閲覧空間は、咲き誇る花のように輝く本と光る書架が、彩り溢れる”景”を醸し出しています。   	長崎県立・大村市立一体型図書館　ミライon図書館　公式HP グーグルマップ　ミライon図書館
12:00	【解散】	

参加費　17,000 円　（1 泊朝食付き宿泊、懇親会費、観覧料等）

＊移動にともなう交通費、昼食代は参加費に含まれておりません、各自でご負担ください。

＊直前のキャンセルについては、キャンセル料を請求させていただく場合がありますので、ご注意下さい。

定員（先着）20 名　（申込全体の先着順）

◆宿泊場所　島原ステーションホテル花みずき

〒855-0044 長崎県島原市中町 548-1

TEL:0957-62-1000 フリーダイヤル 0120-945-351

島原ステーションホテル花みずき 公式HP

【参加申込】

NPO 法人九州森林ネットワークではデジタル化を推進しています。お申し込みはメール・FAX による申込も受付ますが、申込フォームでの申込を優先していただくようご協力ください。

【申し込み締め切り】

・令和 8 年 5 月 7 日(木)正午まで、もしくは定員に達した時まで。

・フォーム・メール・FAX ともに申込全体の先着順で受付ます。（定員に達しましたらお断りする場合があります。）

●申込フォーム

https://forms.gle/4V29douDaSDdQe8u8

【先着20名様限定】第14回九州森林ネットワーク会員向けレクリエーション研修 in 長崎県島原 申込

ご注意（1）右の 2 次元バーコードからもお申し込みできます。→

（2）お申し込みはお 1 人様 1 回限りです。

（3）**NPO 法人九州森林ネットワーク会員でない方**は**会員申込・登録後**にお申し込みください。→

NPO 会員申込・登録はこちらから

https://q-fn.org/membership/

●メール・FAX でのお申込み（必要事項をご記入後、下記アドレスもしくは FAX あてに送付してください。）

住　所	〒
氏　名	
連絡先	電話番号　　携帯番号
	メール
ご所属	団体・組織・役職名　（ない場合は“なし”とご記入ください。）
備　　考	（食事や体調面で特に伝えておく必要がある場合はこちらにご記入ください）

＊当日連絡が取れるように、携帯番号は必ずご記入下さい。

《連　絡　先：事務局》　宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 2683 番地　諸塚村企画創生課　担当：綾

電話：0982-65-1116　FAX：0982-65-0032　メール：s.aya@morotsuka.jp　携帯番号：090-4993-6913